



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 古里 親

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 牧 清忠

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,316	0.8	656	49.4	709	49.7	472	52.7
27年3月期第2四半期	10,231	△6.2	439	△30.8	473	△32.0	309	△27.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	67.94	—
27年3月期第2四半期	36.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	20,203	17,268	85.5	2,485.04
27年3月期	19,611	16,872	86.0	2,428.07

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 17,268百万円 27年3月期 16,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.0	1,250	14.0	1,300	11.2	880	5.5	126.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	8,832,311 株	27年3月期	8,832,311 株
28年3月期2Q	1,883,381 株	27年3月期	1,883,282 株
28年3月期2Q	6,948,962 株	27年3月期2Q	8,561,348 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益・雇用・個人所得の改善が見られ景気は概ね回復傾向に推移しましたが、欧州、新興国経済の先行きの不透明感の増大及び米国の金融政策の影響など景気下振れリスクの懸念があり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、輸入原料を中心に原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は10,316百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は656百万円（前年同期比49.4%増）、経常利益は709百万円（前年同期比49.7%増）、四半期純利益は472百万円（前年同期比52.7%増）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は1,875百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益は232百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び、売上高は2,337百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は90百万円（前年同期比263.6%増）となりました。

チルド食品部門は、焼そば、生ラーメンの受託が好調でしたが、ゆで麺のアイテムが低調に推移し、売上高は1,751百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は154百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

即席麺部門は、袋麺の受託が好調でしたが、カップ麺の受託が低調に推移し、売上高は3,556百万円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益は経費節減に努め164百万円（前年同期比78.7%増）となりました。

その他は、水産物の取扱いの減少に伴い、売上高は795百万円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益は15百万円（前年同期比44.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

第2四半期会計期間末における資産の部は20,203百万円となり、前事業年度末と比べ592百万円増加しました。これは主に、流動資産において現金及び預金が400百万円増加したことによるものであります。

負債の部は2,935百万円となり、前事業年度末と比べ196百万円増加しました。これは主に、買掛金が86百万円、未払法人税等が86百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は17,268百万円となり、前事業年度末と比べ395百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が333百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は7,086百万円となり、前年同期と比べ1,031百万円（17.0%）の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は662百万円となり、前年同期と比べ95百万円（12.6%）の減少となりました。主な要因は、税引前四半期純利益708百万円、減価償却費259百万円による資金の増加と売上債権の増加256百万円及び法人税等の支払額185百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は183百万円（前年同期は3,243百万円の資金獲得）となりました。なお、投資活動による主な支出は、有形固定資産の取得による支出126百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ3,427百万円（96.1%）の支出減となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,029	7,430
売掛金	1,808	2,064
商品及び製品	423	343
仕掛品	23	32
原材料及び貯蔵品	281	284
関係会社短期貸付金	3,500	3,500
その他	112	131
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	13,174	13,781
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,985	1,924
機械及び装置(純額)	1,422	1,344
その他(純額)	979	980
有形固定資産合計	4,388	4,249
無形固定資産	45	39
投資その他の資産	2,002	2,132
固定資産合計	6,436	6,421
資産合計	19,611	20,203
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,297	1,384
未払法人税等	186	272
賞与引当金	173	183
役員賞与引当金	5	8
その他	463	435
流動負債合計	2,125	2,284
固定負債		
繰延税金負債	49	73
退職給付引当金	497	520
役員退職慰労引当金	65	57
固定負債合計	612	650
負債合計	2,738	2,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	17,549	17,882
自己株式	△3,455	△3,455
株主資本合計	16,415	16,748
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	457	520
評価・換算差額等合計	457	520
純資産合計	16,872	17,268
負債純資産合計	19,611	20,203

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,231	10,316
売上原価	9,320	9,155
売上総利益	911	1,161
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	128	149
賞与引当金繰入額	24	24
役員賞与引当金繰入額	2	8
退職給付費用	15	14
役員退職慰労引当金繰入額	5	4
貸倒引当金繰入額	-	0
その他	295	304
販売費及び一般管理費合計	471	504
営業利益	439	656
営業外収益		
受取利息	18	9
受取配当金	27	27
雑収入	22	18
営業外収益合計	68	56
営業外費用		
賃貸費用	3	3
自己株式取得費用	30	-
雑支出	0	0
営業外費用合計	33	3
経常利益	473	709
特別利益		
補助金収入	2	-
特別利益合計	2	-
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
ゴルフ会員権評価損	1	-
特別損失合計	3	0
税引前四半期純利益	473	708
法人税、住民税及び事業税	159	259
法人税等調整額	4	△22
法人税等合計	163	236
四半期純利益	309	472

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	473	708
減価償却費	279	259
ゴルフ会員権評価損	1	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13	22
前払年金費用の増減額 (△は増加)	8	4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4	△7
有形固定資産除却損	1	0
受取利息及び受取配当金	△45	△37
自己株式取得費用	30	—
売上債権の増減額 (△は増加)	158	△256
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6	68
仕入債務の増減額 (△は減少)	9	86
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47	△61
長期前払費用の増減額 (△は増加)	5	△46
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2	△1
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△25	54
小計	942	810
利息及び配当金の受取額	46	37
法人税等の支払額	△231	△185
営業活動によるキャッシュ・フロー	758	662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△256	△256
定期預金の払戻による収入	196	196
有形固定資産の取得による支出	△196	△126
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	3,500	—
その他の支出	△1	△1
その他の収入	1	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,243	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△175	△138
自己株式の純増減額 (△は増加)	△3,390	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,565	△138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	436	340
現金及び現金同等物の期首残高	5,618	6,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,054	7,086

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,646	2,106	1,764	3,861	9,379	851	10,231
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,646	2,106	1,764	3,861	9,379	851	10,231
セグメント利益	172	24	139	91	428	10	439

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,875	2,337	1,751	3,556	9,520	795	10,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,875	2,337	1,751	3,556	9,520	795	10,316
セグメント利益	232	90	154	164	641	15	656

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。